

令和6年2月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和6年2月20日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時40分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
	委員	門原眞佐子	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長(教育総務部長兼務)	疋田洋一	学校教育部長	植山智恵
生涯学習部長	道広浩章	教育企画総務課長	山邊真由美
教育企画総務課企画調整担当課長	佐藤美穂	教育企画総務課課長補佐	矢谷隆宏
学校施設課長	幸勲治	就学課長	松本豊
学校調整担当課長	政久秀生	学校指導課課長補佐	坪井由佳
教育支援課課長補佐	小林朋史	保健体育課長	藤井健介
保健体育課課長補佐	長谷井利之	保健体育課課長補佐	小松原英明
教育研究研修センター所長	八木信英	新センター整備担当課長	村尾剛介
情報教育推進室長	赤枝辰哉	生涯学習課長	上野喜宣
生涯学習課課長代理	永井正博	参事(文化財課長事務取扱)	草原孝典
文化財課副主査	西田和浩	スポーツ振興課長	唐井努
スポーツ振興課主任	羽田佑太郎	こども企画総務課長	石原加恵
事務局 (教育企画総務課指導主査)	仲宗根篤史	事務局 (教育企画総務課主事)	難波実佑
5 議題及び結果			
報告 第4号	令和6年度岡山市一般会計予算案(スポーツ振興課分)	への同意について	承認
報告 第5号	令和6年度岡山市一般会計予算案(岡山っ子育成局分)	への同意について	承認

報告 第6号	令和6年度岡山市一般会計予算案（教育委員会分）への同意について	承認
報告 第7号	令和6年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計予算案への同意について	承認
議案 第2号	岡山市指定文化財の指定について	原案可決

6 教育長等の報告[令和6年1月13日（土）～令和6年2月9日（金）]

1/17	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（西大寺小学校）	学校指導課
1/17	教育長学校訪問（箕島小学校）	教育企画総務課
1/22	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（西大寺中学校）	学校指導課
1/28	子そだて応援ハッピータイム	生涯学習課
1/29	学校給食週間における学校訪問	保健体育課
1/31	岡山県公安委員会・岡山市教育委員会・岡山県教育委員会による意見交換会	教育企画総務課

7 議事の概要

教育長 全委員 教育長 全委員 教育長 上西委員 教育長 教育長 片山委員 生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ ただいまから2月岡山市教育委員会定例会を開会する。本日は、傍聴希望者が1名いる。入室してもらってもよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 本日は、石井委員が欠席で、4名の開催である。日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ はい。 日程第2、こちらに1月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告をご覧になって、何かご質問はないか。 ○ 学校訪問に行かれて、その学校の様子等を教えていただければと思う。 ○ 1月17日に箕島小学校へ行ってきた。これは通常の学校訪問の他に、主は連合町内会長から、地震なんかが起きたときに、南区は干拓地ので液状化をすると。液状化のときの避難訓練というか避難についてやったほうがいいと思うという話もあり、話をお伺いしたり様子を見に行ったりした。もう一つは、今箕島小学校は子どもが増えていて、プレハブを狭い運動場に建てていて、子どもの人数のピークが見えずに、分離はできないしというところで、以上の2点、箕島小には課題があったので行った。 後日、危機管理室と、教育支援課が避難訓練や防災の関係、教育委員会は担当しているので、勉強会をしたということで聞いている。実際液状化になるともうどうしようもない。同じ南区にある藤田もうねって車が道が通れなかったり建物が傾く可能性がある。大学の先生に聞きながらやっているところである。 ○ 他はよろしいか。 ○ 子そだて応援ハッピータイムについて少し伺いたい。 昨年もニーズがあるということを知って、今年の例年との比較や、今後の課題等があればお聞かせいただければと思う。 ○ 1月28日に開催した子そだて応援ハッピータイムは、岡山ふれあいセンターで昨年同様開かせていただいた。来場者数が847人ということで、昨年の578人から大幅に増えている。また、この子そだて応援ハッピータイムに参加している団体の数は、昨年度は12団体から今年は20団体ということで8団体増えている。 今年度も大盛況であって、会場のほうがちょっと狭くなりがちということと、今回は会場を二会場取ったけれども、二会場の行き来というか、誘導のほうもう少しうまくいかなかったため、2つの部屋同士の連携を取って行ける
---	--

<p>片山委員</p>	<p>ようにすることが重要かなと思う。参加した方からは非常に楽しかったと、また参考になったといったよう声を聞いている。</p> <p>○ ぜひ何かこういう家庭が集まるところでまた体の動かし方とか、将来の生活習慣についても何かこのイベントの中に盛り込んで、楽しい経験の中に入れていただいて、日々に生かしていただけるような機会もあったらいいかなと思う。</p> <p>以上である。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ それでは、本日は非公開となるものはないので、議事に入る。</p> <p>日程第4、報告第4号をスポーツ振興課から説明をお願いします。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>○ 報告第4号専決処理の報告についてご説明する。</p> <p>令和6年度岡山市一般会計予算案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、令和6年2月13日に専決処理をしたものである。</p> <p>内容は、第10款教育費中、第30項保健体育費、第5目体育振興費のうち、学校体育施設開放事業に係る施設の電球等消耗品、施設修繕、原材料費及び備品購入費等として900万円を当初予算に計上するものである。</p> <p>令和5年度当初予算からの増減率としては88.7%の減少である。この主な要因としては、令和5年度は操南小学校に屋外夜間照設備を新設するための工事請負費等を計上していることによるものである。</p> <p>説明は以上となる。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 今の説明について質問、ご意見等あったらお願いします。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、報告第4号を承認する。ありがとうございました。</p> <p>続いて、報告第5号をこども企画総務課から説明願う。</p>
<p>こども企画総務課長</p>	<p>○ それでは、令和6年度一般会計当初予算案のうち、岡山っ子育成局分についてご説明する。</p> <p>令和6年度岡山市一般会計予算案のうち、岡山っ子育成局分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、専決処理したものである。</p> <p>岡山っ子育成局における令和6年度の予算は総額では6億4,189万円余で、前年度に比べて金額で7,476万円余、率にして13.2%の増となっている。</p> <p>主な増減理由としては、資料の5ページをご覧ください。</p> <p>教育費の令和6年度当初予算における事務事業について8項目を上げている。</p> <p>まず、第20項幼稚園費である。</p> <p>①の幼稚園運営経費は、市立の幼稚園の光熱水費等の運営に係る経費等である。幼稚園が9園でとなったことに伴う物件費の減により減額となっている。</p> <p>②幼稚園施設管理費は、市立の幼稚園施設の維持管理に必要な経費等で、工事請負費の減などにより減額となっている。</p> <p>③就園管理課事務費は、幼稚園事業に携わる職員の人件費である。職員の人事異動等に伴い減額となっている。</p> <p>④幼保運営課事務費は、幼稚園事業に携わる職員の人件費である。職員の育休などの延長により減額となっている。</p> <p>⑤幼稚園事務費は、幼稚園の入退園及び幼稚園児授業料に関する事務費等で、職員手当改定に伴い増額となっております。</p> <p>続いて、第25項社会教育費である。</p> <p>⑥次世代育成事務費は、次世代育成事業に携わる職員の人件費である。職員の人事異動等に伴い減額となっている。</p>

<p>教育長 上西委員</p>	<p>⑦次世代育成体験活動促進事業費は、体験学習活動の推進などの社会教育活動促進事業費である。主に二十歳の集いにおけるコロナ対策経費の減により減額となっている。</p> <p>⑧少年自然の家運営費は、少年自然の家、日応寺自然の森の管理運営事業費である。工事請負費が大幅に増額となっている。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>○ ただいまの説明について何かご質問、ご意見があれば願います。</p> <p>○ 少年自然の家の運営費が倍ぐらいになっている。もう少し具体的な理由があるか。</p>
<p>こども企画総務課長</p>	<p>○ 少年自然の家が開所50年を経過して、かなり建物の老朽化が進んでいる。来年度はプレイホールの改築、それから遊具の改修を予定していて、そちらの工事費が1億円ほどかかっているの、大幅な増額となっている。</p>
<p>教育長 門原委員</p>	<p>○ ほかにご質問、ご意見等があれば願います。</p> <p>○ 少年自然の家に関することだが、具体的には山の学校等で使用されているのは小学校だと思うが、他にどういう団体が使われているのかということと、その工事期間の間はそういうところはどのように、別の代替案とか、何かもしご存じだったら教えていただきたい。</p>
<p>こども企画総務課長</p>	<p>○ 利用については、今委員がおっしゃったとおり、ほぼ小学校4年生の山の学校が中心になる。山の学校が大体春か秋に利用が予定されているので、その期間を避けてなるべく改修工事のスケジュールを組むようにしてると担当課のほうからお聞きしている。</p> <p>以上である。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ ほかはよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、報告第5号を承認する。</p>
<p>教育企画総務課長</p>	<p>続いて、報告第6号を教育企画総務課から説明をお願いします。</p> <p>○ では、報告第6号について、令和6年度岡山市一般会計予算について、教育委員会分の教育費予算への同意について専決処理をしたので、その報告をさせていただきますものである。</p> <p>理由としては、教育委員会のほうに付議する時間がなかったもので、専決処理を2月13日にさせていただいたものである。</p> <p>では、一般会計について概要を簡単に説明させていただく。</p> <p>このたびの予算編成に当たっては、第2期岡山市教育大綱で目指す子どもの姿、自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもの育成に関連する事業や教職員の働き方改革に重点を置くとともに、学校特別教室空調設備整備等、必要な施設の整備等を図っているものである。</p> <p>こちらは第10款教育費の目別歳出の表になるが、教育委員会関係の令和6年度の一般会計歳出予算の合計額は、前年度比で101億9,120万5,000円の増、総額にして586億7,239万3,000円となっている。このうち、昨年度に比べて増減が大きい項目の主なものについてご説明する。</p> <p>まず、第5項小学校費及び第10項中学校費、第1目学校管理費の増は、教育環境改善のための特別教室への空調設備整備等によるものである。</p> <p>次に、第5項小学校費、第5目教育振興費の増は、小学校教科書の採択替えに伴う教師用教科書及び指導書の整備によるものである。</p> <p>同じ項、小学校費、第10目学校建設費の減は、山南学園の整備等の減少によるものである。</p> <p>第25項社会教育費、第10目公民館費の増は、旭公民館が老朽化し、未耐震のため、新たな整備を行う岡山中央中学校区公民館建設事業等によるものである。</p> <p>続いて、第30項保健体育費、第5目体育振興費の減は、部活動地域移行モデル事業の学校プール長寿命化改修に係る事業費の減によるものである。</p>

同じ項、第15目学校給費の増は、新岡山学校給食センター（仮称）整備事業のほか、学校給食費公会計化に係る学校給食費管理運営費の新設によるものである。

増減が大きい項目の主なものについては以上である。

続いて、資料の8ページ。

こちらは、令和6年度当初予算案に計上している教育委員会関係の主要な施策、事業を岡山市第6次総合計画の分野別計画に沿って記載したものである。

まず、中四国をリードし、活力と創造性にあふれる経済・交流都市に関連する事業であるが、①から③の史跡整備事業は、国指定史跡の復元整備や土地の公有化を行うものである。

次に、誰もがあこがれる充実の子育て・教育都市に関連する事業。

④は就学援助を行う事業であるが、支給対象を私立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に拡大するものである。

⑤、⑥は、よりよい授業づくりを進め、第2期岡山市教育大綱で目指す5つの力を育成するため取り組む事業である。新たなものとして、デジタル採点システムの導入を盛り込んでいる。

⑦から⑩は、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、支援に必要とする子供やその保護者に対して相談や援助を行う事業となっている。

⑪は、教員採用試験柔軟化や現任教員を対象とした採用試験の実施等により、さらなるよい人材の確保を図る事業である。

⑫は、学校にアシスト職員を配置し、教員の業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保することで教育環境の向上を図る事業である。

⑬は、部活動地域移行の事業の一つとし、モデル校に部活動指導員を配置するものである。

⑭の事業は、教員が子ども一人一人と向き合う時間を確保するため、学校給食費を公会計化し、教育委員会が保護者から直接徴収する方法に変更するものである。

⑮の事業は、子どもたちの学習環境や教職員の労働環境改善に対応するため、小・中学校の特別教室にも空調を整備するものである。

⑯から⑱は、給食調理場の再整備計画の策定や老朽化した学校給食センターの移転、建て替えのための事業を進めていくものである。

10ページをご覧ください。

⑲は、GIGAスクール構想として、AIドリル及び授業支援ソフトの導入による端末活用の促進やICT支援員の配置、ネットワーク等のトラブルに対処するサポートデスクチームの設置など、学校のICT活用の支援事業である。

⑳の事業は、教職員の資質向上に資する教育研究研修センターの整備、建設を行うものである。

㉑の事業は、義務教育を受けることのできなかった方に対する学ぶ機会の保障に取り組むもので、令和7年度の夜間中学の開設に向けて準備を進めているものである。

㉒は、旭公民館が老朽化し、未耐震のため、岡山中央中学校武道場との複合化により新たな公民館整備を行うものである。

最後、㉓の事業は、焼却処理している給食残渣をメタン発酵処理施設に搬入し食品リサイクルを実施し、温室効果ガスの排出削減を図る事業となっている。

以上で教育委員会に関係する一般会計予算案の概要についての説明とさせていただきます。

教育長
上西委員

- ご質問、ご意見等があればお願いします。
- ほとんどの項目で増額が認められているんだなというのがまず感想です。

	<p>また一方では、学校給食の給食費管理運営事業がかなり今回大きな支出になっているのだが、これは初年度だから大きいのか、これはもうこの費用がコストとして毎年かかるのか、教えていただけるか。</p>
<p>教育企画総務課長 上西委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ こちらのほうは、学校給食の食材費であるとかが入っている。 ○ 増額があるのは、令和5年から増額になってるんだけど、その増額の内容を教えてほしい。
<p>島田教育次長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ これは、食材費等は実際保護者から集金を公会計化として集めさせていただくので、後から何回、10回程度に分けて集金したものが市のほうに入ってきて、これが補われていくということなのではあるけれども、まだ保護者から集めてるわけではないので、最初は市が負担する。
<p>上西委員 教育長 島田教育次長 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ なるほど、一旦負担している。 ○ もうシステムのほうはつくっておるのか。 ○ システムはつくっている。 ○ 来年度が開始年度である。 ○ ほかはよろしいか。
<p>教育長 教育長 片山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ⑥の英語の教育推進事業も、本当にどれもくまなく子どもたちのために予算を割いていただいているありがたいと思うけれども、ここの英語の教育に関して、外国語指導助手を派遣しというところで英語力の向上を凶ってくださるということなんだけれども、何か教科書の検定のためにいろいろ見せてもらおうと、やっぱり小学校の5、6年生の英語がすごく難しいと思うのが正直なところで、実際先生方もお困りじゃないかと勝手に何か思ったりするところで、その外国語の指導助手の先生が入ってくださるのはありがたいが、いわゆる小学校の先生方のこういったところのサポートというか、学習の機会であったり、何かそういう学習ソフトというのか教育支援ソフトみたいなそういったものとかに少し先生方の負担が減るような手だてというのがあったり何かあるのか。あるいは研修等、何かあるのか。それらもこの中に含まれているのかといったような日本人の先生への支援というようなものが含まれているかということをお教えいただければと思う。
<p>学校指導課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の先生方へのサポートとしては、英語教育推進事業で指定校授業があって、授業づくりの在り方についてのよりよい形を2校で指定校授業としてやってもらっていて、その授業を共有することであるべき姿を理解していくというような研修の場面をまず設けている。 それから、外国語指導助手との日々のやり取りそのものが先生方の英語力の向上にもつながっているというところで、そこは十分に活用していただくように伝えている。 また、外国語の指導者用、教師用のデジタル教科書を入れているので、これについては授業の中でしっかりと模範的な音声を読みながら授業を構築でき、そういった授業づくりの負担も減るように、そういうツールになっているので、そうしたものを使いながら授業改善ができるようにということをお支援としては行っている。
<p>片山委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大変よく分かった。 ○ 大規模校は英語専科を置いていて、英語専科が5、6年生を担当するというのもあるので。 ○ 他はよろしいか。
<p>教育長 門原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ はい。項目の13であるけど、部活動の指導員の配置についてであるけれども、先ほどモデル校を何校かというので、具体的には何校設けていて、今後そのロードマップというか、具体的にはどんなふうに見直しをもっていかのかということをお教えいただければと思う。
<p>保健体育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動指導員、部活の指導員、ここの事業費については、来年度、今部活

<p>門原委員</p>	<p>動指導員を瀬崎中学校に集中配置しているの、その事業経費になる。ほかには市民生活局のほうでモデル関係の予算を要求させていただくが、モデル的には本年度は岡大から京山中学校と岡北中学校、環太平洋大学からは瀬戸中学校へ学生を派遣してもらったり、あとプロチーム、プロ選手を派遣してもらったりとか、そういうモデル的なことをやっていて、来年度は市民生活局になるんで、引き続き大学生の派遣はさせてもらうけれども、岡北中学校のクラブチームに派遣とか、あと競技団体、剣道になるけれども、そういうところへの競技団体からの派遣とか、そういうことを増やしていこうと思う。</p> <p>○ 部活動はなかなか進むようでは進まないんだけど、本当にこれが随分教員の働き方に大きく関わっているの、遅々としてでもいいが、少しずつでも改革できていけば本当によいことかなと思う。</p>
<p>保健体育課長 教育長</p>	<p>○ ロードマップとしては11年度に平日の部活動地域移行を目指している。</p> <p>○ 国が3年間でやり切れと言われたんだけど無理だということで、3年やって、もう3年展開して、11年からというのを議会では言っている。今課長が言ったように、今年から市民生活局、7階のスポーツ振興課のところへ部活動地域移行の担当課長が置かれて、そちらと連携しながらやっているので、保健体育課のほうは部活動を担当しているのと、学校指導課が文化部を担当しているの、両方でグリップしながら考えていかないと、モデル校以外は土日も普通に教員がやっているから、そこのグリップと平日のグリップは教育委員会がしないといけないので、市民生活局に全部任せたとはいえない。</p>
<p>教育長 保健体育課長 教育長</p>	<p>○ モデル事業の2つのところの予算はスポーツ振興課がとります。</p> <p>○ 部活動指導員の予算は引き続き教育委員会がとります。</p> <p>○ 瀬崎は正味部活動指導員で全員回している。人材不足がここは最大の課題なんで、人材バンクをつくったりしてるところもある。そこをどうするかが課題。</p>
<p>教育長 教育長 上西委員</p>	<p>○ スポーツ庁も3年間でやり切れ言っていたのをちょっと緩めている。</p> <p>○ 他にあるか。</p> <p>○ 19番のGIGAスクール構想のところ、デジタルAIドリルというところの内訳のところもかなり増額されていて、これについてはどうですか。</p>
<p>教育研究研修センター所長</p>	<p>○ 岡山市共通でこのAIドリルとか、それから授業支援ソフト、これを入れて、岡山市全体でこれからさらに推進していきたいという熱い思いをもっており、この増額になっている。</p>
<p>教育長 教育研究研修センター所長</p>	<p>○ これは支援員も入っているのか。</p> <p>○ はい。支援員と一体型の金額である。ここへ書いてあるとおりである。AIドリル、授業支援ソフト、ICT支援員でこの額。それプラス、もし何か端末に故障があったときの保険が適用できるようなGIGAスクール運営支援センターというのが大きいです。</p>
<p>教育長 門原委員</p>	<p>○ 他はよろしいか。</p> <p>○ 今のに関連してであるが、ICT支援員の配置なんだけれども、具体的にはどれぐらいの配置をしていて、どのように回られているのかとか、分かる範囲で教えていただきたい。</p>
<p>教育研究研修センター所長</p>	<p>○ 今年度もそうなんだけれども、今は年間16回、1年間の中で各校、小学校、中学、それから後楽館高校に16回行っていただいている。来年度についても、それぐらいの回数は必ず確保していきたいと考えているけれども、先ほど申したように、ぜひAIドリルとかそういった支援ソフトがしっかり先生方が授業の中で使いこなせるような、そういった支援を具体的にしていきたいなとか、そういうような強い希望をもっている。</p>
<p>教育長 教育研究研修センター</p>	<p>○ 今までのICT支援員は、機器が故障したときの対応をしていた。来年度授業のほうで活躍してほしいという、少しやり方を変えてる。</p> <p>○ 今年も、今までも初めての取組が多かったので、実際に授業で使うような</p>

<p>ター所長 教育長 全委員 教育長 保健体育課長</p>	<p>教材の作成も一緒にお手伝いしていただいていた。それはそれで非常に助かったが、もう一つランクを上げて取り組んでいきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほかはよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、報告第6号を承認する。 続いて、報告第7号を保健体育課から願います。 ○ 保健体育課である。 令和6年度の岡山市学童校外事故共済事業費特別会計予算案についてである。 この事業であるけども、学校管理下外において災害を受けた学童を救済し、学童の健全な育成と福祉の推進に資することを目的としていて、対象者は義務教育課程在学中の児童・生徒である。 歳入歳出予算の総額は、それぞれ1,297万8,000円となっている。 歳入については、第1款共済会費収入の1,196万5,000円は、1人年間300円の会費収入になる。 第21款財産収入9万6,000円は、学童校外事故共済基金から生じる預金利子である。 第23款繰入金の基金繰入金91万7,000円は、学童校外事故共済基金からの繰入金である。 次に、歳出については、第1款学童校外事故共済事業費のうち、第1目管理費95万3,000円の事務費及び基金積立金である。 第5目共済事業費1,202万5,000円は、校外事故に対する見舞金である。
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>説明は以上となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ただいまの説明について質問、ご意見があったら願います。 よろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、報告第7号を承認する。 続いて、日程第5、第2号議案を文化財課から説明願う。
<p>文化財課長 教育長 文化財課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2号議案岡山市指定文化財の指定についてである。 本件は、岡山市文化財保護条例第3条第1項第4号の規定により、岡山市指定文化財に新たに1件を指定しようとするものである。 岡山市文化財保護条例第10条の2の規定に基づき、教育委員会が令和5年12月19日付で岡山市文化財保護審議会に諮問を行い、令和6年1月9日付で同審議会から指定がふさわしいとの答申をいただいたことから、本日の議案となっている。 今回指定を行おうとする物件は1件で、建部井堰である。建部井堰は、旭川中流域の岡山市北区建部町品田に所在する。 建部井堰とは、旭川の中に伸びた石積みの細長い堤で、旭川の流れを分流させ用水路に流し込む。18ページの上段写真に左側から右側にかけて細長く伸びておるのが井堰の本体である。井堰は、文献や絵図から築造時期が17世紀代に求められる。堤の全長は約650メートルを測る。今も農業用に使用され、現存している江戸時代の石造りの取水堰としては日本最大級である。 なお、岡山市文化財保護条例に基づく指定文化財は、認定1件を含めて現在は125件ある。 以上についてご審議のほどよろしく願います。 ○ ただいまの説明について質問、ご意見があったら願います。 石積みといいながら草が生えているのか。 ○ 石の間にどうしても砂が入るものであるから、そこを根っこにしてぐるっと周りに草が伸びているという状況である。

<p>教育長 文化財課長</p> <p>教育長 教育長</p> <p>全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ それを取ることはできないのか。 ○ 無理にとると石を傷めてしまう可能性があるので、現状では今のままが本当はベストである。 ○ なかなか石の見えないところがあるが。 ○ よろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、第2号議案を原案可決する。 <p>以上で本日予定していた議案の審議は全て終了した。 以上をもって令和6年2月教育委員会定例会を閉会する。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般</p> <p style="text-align: right;">1名 0名</p>